

# STRUM

シュトゥルム

第44号

令和1年7月7日発行

梅雨明けの待たれるこの頃ですが、皆様お元気ですか？夏の暑さ本番前に体力も備えたいですね。Strum 今号は、夏から秋のコンサート日程調整を待って、予定より少し遅れての発行となりました。今年も9月には11回目となる、後援会主催のWiener Wind ユニオンチャーチコンサートが開催されます。8月上旬にはご案内をお送りしますので楽しみにお待ちください！

## 近況報告

先日、友人の家族が入居している介護施設でお見舞いがてら演奏をしてきました。リクエストで「上を向いて歩こう」や「みかんの花咲く丘」など一緒に歌える曲も多く弾いたのですが、モーツァルトやバッハなど音楽療法で使われる曲もいくつか組み込んだところ、表情がなくなってしまうお爺さんや、うなだれて動かないお婆さんの意識がふとこちらに向き、あるかなしかの目線を感じた時、ああクラシック音楽は心と体に本当に作用するのだと改めて感動を覚えました。一人の身なりの良いお婆さんなどは、昔のヨーロッパ旅行を思い出す、こんな音楽が聴けるなんて生きていて本当に良かったと、涙をこぼして私を抱きしめてくれ、もちろん変化のない施設生活の中でのことだからかと思いつつも、演奏家にとって自分の演奏が人の心にバイブレーションを起こすことは、演奏家冥利に尽きると感じます。

話は変わって、通訳の仕事で飲み物が用意される会議の際、日本人は熱いコーヒーか緑茶、イギリス人は熱い紅茶に常温のミルクをたっぷり、オランダ人やドイツ人はエスプレッソマシンのコーヒー、アメリカ人はコーヒーメーカーのポットからあまり熱くもなく濃くもないコーヒーをカップ半分ぐらいまで注ぎ、とお国柄が現れるのですが、なんといつても日本人と外人との大きな違いは外人は飲み物をすすらないということです。飲むときにすすり…とやるのはお行儀が悪いというより、外国人にはどうして音がでるかわからないらしく不審な目で見られるので、外人との食事の際はなんとか音をたてないようにと苦労してきたのですが、会議中、思いつき音をたてながらコーヒーをすすり、外人に檄を飛ばす日本人の姿を見ると、好きなだけ音をたてて飲んだ方が美味しいよな、けれどちょっとスマートさにかけるのかなと、今更ながら小さな文化の違いに、少々煩悶する日々です。今年も猛暑になるとのこと、音楽が涼しさを運ぶことができたらと願いつつ、音を奏でていこうと思っています。

【伊都】

## Ito Kanoh Spring Live 2019 at Bar Bar Bar Yokohama

4月20日、横浜関内の老舗ジャズライブハウス Bar Bar Bar で、伊都さんのコンサートが行われました。2年振りの BarBarBar は満席のお客様！以下、伊都さんのコメントです。

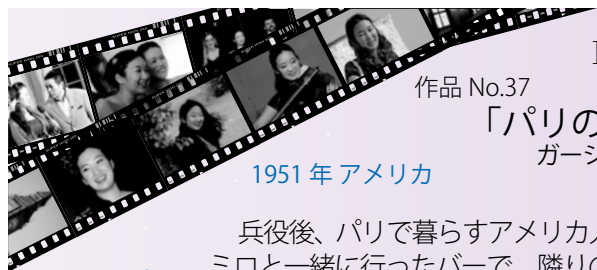
第1部はあまり弾かれないけれど聞き応え十分のクラシック曲、特にユダヤの宗教曲からとられたブロッホの「ニーグン」は、バイオリンのディープな音が楽しめる私の得意曲で、久しぶりに演奏したかったこと、そして最後に亡くなられた BarBarBar の創始者で、横浜のドンと言われていたオペラ好きの元オーナーを偲んで「誰も寝てはならぬ」を演奏。第2部はアイリッシュとタンゴ、特に今回はピアソラの「アディオス・ノニーノ」(さよならお父さん)が、TVでクロアチア特集を見て(まだ廃墟と弾丸の跡が残るクロアチアで、初めてこの曲を弾き、知らない人にご飯を食べさせてもらった思い出があり)とても弾きたくなったこと、第3部はガーシュインの「パリのアメリカ人」などジャズとジブシーの曲を演奏。ちょうどノートルダムが燃えた直後だったので、ノートルダムの塔に登っておけば良かった…パリはウィーンから行くともうすぐ都会でおしゃれな街で、でも物価が高いので、お店の包装紙だけお土産にもらって来たことなど話しました。

ライブハウスでのコンサートの魅力は何といっても客席との距離の近さ！伊都さんのヴァイオリンと、ピアニスト近藤紗織さんの音の振動が熱く伝わった素敵な夜でした。



## Ito Kanoh 公開コンサート (パフォーマンス) 予定

8月3日(土) 19:30~	横浜エアジン (横浜馬車道)	Violin Solo & Duo with Guitar Guitar: 原 善伸 (洗足学園講師) バッハのパルティータ1番(solo)他 シューベルトやパガニーニなど、 暑い夏に爽やかなクラシック曲を ギターのと共にお届けします。	横浜エアジン http://airegin.yokohama/ Charge: ¥3500 (予約¥3300/U25 ¥1500) 問い合わせ: 045(641)9191 (エアジン)
8月31日(土) 15:30~	渋谷	歌う瞑想会 インドの楽器ハーモニウムとドラム スと共に、インドの伝統音楽「キル タン」(サンスクリット語で「歌う」 という意味があります)を詠じます。 東洋の神秘にご興味のある方は必見 です。	問い合わせ: 加納伊都リサイタルオフィス
9月15日(日) 18:00~	広尾		
9月22日(日) 17:00~(予定)	横浜山手 ユニオンチャーチ	TRAUBEN 11th concert Wiener Wind	8月15日より後援会会員予約受付開始 8月上旬にご案内をお送りします
10月27日(日) 14:00~	場所未定 横浜山手周辺予定	横浜音祭り Violin infinity 横浜市、加納伊都リサイタル オフィス 共催 Violin × 絵・写真・詩・三味線・ 香り	Violinのサウンドと他芸術のコラボによる、 様々に刺激が飛び交うイベントです。音だ けでない新しい興奮を予定しています。 問い合わせ: 加納伊都リサイタルオフィス



## DVD Classic Collection

作品 No.37

## 「パリのアメリカ人」

ガーシュインの音楽とジーン・ケリーの  
ダンスで魅せる

1951年アメリカ

## あらすじ

兵役後、パリで暮らすアメリカ人の貧乏画家ジェリーは、スポンサーになると言ってくれた女性、ミロと一緒にいったバーで、隣の席にいたリズに一目惚れ。強引に電話番号を聞き出し、デートに誘う。だが、リズには、戦争中両親を亡くしてから世話になっている婚約者、アンリが居た。

## 見どころ

往年のミュージカル大スター、ジーン・ケリー黄金期の作品。彼に見い出されたパリのバレリーナ、レスリー・キャロンのデビュー作。映画音楽はすべてジョージ・ガーシュインの作曲と、その兄アイラ・ガーシュインの作詞。友人アダム役の、俳優でありながら名ピアニストでもあるオスカー・レヴァントも光っている。アカデミー作品賞はじめ6部門受賞作。

## 感想

クライマックスの18分間のダンスシーンが素晴らしい！クラシック・バレエ、タップ、モダン・ダンスの上手さにも圧倒されるが、背景に描かれたデュフィ、ユトリロ、ロートレックらのパリらしい画風のセットにも見入ってしまう。近年のヒット作「ラ・ラ・ランド」ラストの妄想シーンは、この映画のこのシーンへのオマージュと言われている。三角関係のストーリーはともかく、音楽もダンスも本物！のエンターテイメントを見た満足感が残る。

\*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 一年余り前から音楽配信サービスに入り、スマホで音楽を聴くようになりました。生活は一変し、ありとあらゆる音楽がいつでもどこでも…というシアワセの反面、いや待てよ、これでいいのか？というストッパーがどこかでかかります。/十数年前から突如生活に入り込んだケイタイ→スマホの波。電話はもとより友達と自由にメールが出来、写真も撮れて、どんな場所へも行き方を教えてくれ、忘れたことも知らないこともすぐ聞けて、本も読め、何でも買ってお財布にまでなってくれる…この小さなキカイなしの生活ってどんなだったっけ？と思いつけないほどです。/小さな子どもがママのスマホを難無く操っている姿を見るにつけ、どうか私たちの世代よりも賢く、自由で、健康であってくれと願うばかりです。〈ゆ〉

発行: 加納伊都後援会 T R A U B E N  
〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15  
TEL: 045-622-6780  
FAX: 045-621-6423  
Email: trauben@itokanoh.com  
Homepage: itokanoh.com